

2025 年度 あさひかわオープンカレッジ連携講座 報告集



[撮影] 旭川ウェルビーイング・コンソーシアム教育コーディネーター白井暢明

一般社団法人 旭川ウェルビーイング・コンソーシアム

共催：旭川市教育委員会

刊行にあたり

本年度の「あさひかわオープンカレッジ」も、多くの方々の支えにより実施することができた。各回の講座には、それぞれ異なる分野で知見を深めてこられた専門家を迎え、多面的な内容に触れる機会を設けることができたことは、たいへん意義深いことであった。講師の方々がそれぞれの立場から培ってこられた経験や知識は、受講者に新しい発見をもたらすだけでなく、日々の暮らしや社会のあり方をあらためて見つめ直す契機にもなったものと思われる。このように豊かな学びの時間を積み重ねることができたのは、講師の皆さまの真摯なご協力の賜物であり、ここに深く敬意と感謝を表したい。

受講者の顔ぶれを見ると、比較的高齢の方々の参加が中心ではあるものの、講座の内容によっては若い世代の参加も見られ、関心の広がりを感じさせる場面があった。年齢やこれまでの経験が異なれば、同じ講義に向き合う姿勢や受け止め方もまた異なる。しかし、そうした違いがあるからこそ、一つのテーマを共有する場には独自の豊かさが生まれる。さまざまな世代が同じ時間と場所をともにし、それぞれの関心から学びを深めていく営みは、本講座の大切な特色の一つであるといえるだろう。

もちろん、このような取組みを続けていく道のりは、常に順調であるとは限らない。運営の面でも内容の充実という面でも、考えるべき課題は少なくない。それでもなお、地域の中に学びへ向かう場があり続けること、その場が人々にとって無理なく足を運べるものであり続けることには、大きな意味がある。華やかさよりも着実さを大切にしながら、「あさひかわオープンカレッジ」を今後も積み重ねていくことができれば幸いである。

学びとは、ただ知識を増やすことにとどまらず、物事の見方を広げ、自分自身や社会との関わりを見つめ直す営みでもある。本講座が、受講者一人ひとりにとってそのような機会として息づき、これからも地域の中で親しまれ、支えられていくことを願ってやまない。

旭川ウェルビーイング・コンソーシアム
連携公開講座等事業部会 部会長
北海道教育大学 教授 十枝内康隆

目次

第1回 「人生案内」～かけがえのない日々の生活のなかから～ 旭川市立大学 名誉教授 信木 晴雄	… 2
第2回 「地域経済と観光」～地元の魅力を再発見しよう～ 旭川市立大学 教授 江口 尚文	… 4
第3回 屯田兵村史に観る北海道開拓の諸相 旭川市立大学 名誉教授 竹中 英泰	… 7
第4回 デザイン都市サブネットワーク会議 2024～未来をリードする旭川デザイン～ 旭川工業高等専門学校 教授 浜田 良樹	… 9
第5回 口から始まる健康長寿～オーラルフレイルとフレイルを知って未来も健やかに～ 旭川医科大学医学部看護学講座 教授 山根 由起子	…13
第6回 「美について」—ひとはなぜ「美」を求めるのか?— 旭川工業高等専門学校 名誉教授 白井 暢明	…15
第7回 「デザイン都市」旭川の源流 東海大学 名誉教授 大矢 二郎	…17
第8回 英単語からせまる英語の世界 北海道教育大学旭川校 講師 福嶋 剛司	…19
第9回 不適切な保育の今昔～昔の常識、今の非常識～ 旭川市立大学短期大学部 准教授 棚橋 裕子	…21
「あさひかわオープンカレッジ」アンケート実施結果 旭川ウェルビーイング・コンソーシアム事務局	…24

「人生案内」～かけがえのない日々の生活のなかから～

2025年7月5日(土) 13:30~15:30

旭川市立大学 名誉教授 信木 晴雄

知ることは、人間にとって大いなる喜びをもたらす出来事になる。くわえて、生活を生き生きと過ごす活動のもとになるいわばちいさなきっかけとして理解されるであろう。何を一番大切なものとしてとらえるべきなのか。わたしにとって、わたしの人生がとりもなおさず貴重な生であり、毎日の生活を日々、わたくしなりに過ごすことには、一度しかない人生を大切に感謝しておくという、すべてのひとに等しく義務であり、普段気づかれない知恵が埋もれているはずである。

知識には、ふたつの側面が考えられる。ひとつには、自己を知るという難しさであり、さらに、間違っていたことを、今、やっと分かるという反省的な知、自覚としての内面性が見いだされる。両面から知識を総合するとき、自分の誤りを知り、そこから、自分をただすという行動の意義のある新しい生の歩みがはじまる。

かけがえのないわたしの生をひろく宇宙論的な視点から理解するならば、わたしは、周囲のひとびとと関わる周囲世界や地域社会にくみこまれ、常日頃から、さまざまな恩恵を得てきたことが明察されるのである。わたしは、いつだってひとりぼっちでは生きられない。代替存在のないわたしとは、さまざまなひとびとを親しくつきあい、感謝や共感を味わいながら成長する生きる喜びを感じてきた唯一の人生を多様な側面から喜怒哀楽とともにふりかえることができる。なかでも、肯定的な意味合いでの評価の高い得点よりも、批判にさらされる機会は、わたしの生の意味をそれなりの仕方で立ち止まらせ、治癒的に深めてくれるだろう。また、不在の感覚には、かえってわたしにとって、貴重な生の深みをもたらす運命の奥深さを覚えさせるものとなろう。なきひとの親しい面影には、いつも、わたしにとって、得難い愛の深淵を垣間見るひとときを安堵とともに得させるからである。

心の平安を得るためには、失われることのない喪失体験をよく吟味しながら、死と隣り合わせの人生が、必ずしもまばゆい成功ばかりから評価されるのでなく、そうではなく、ありがちな理性的な点数評価の見方からいったんみずからを解放する勇気とおのれの不合理さへの、いわば静かなあきらめこそが、わたしにとって、自由をもたらすのだという真実を受け入れることが求められるのである。

< 講義風景 >



「地域経済と観光」～地元の魅力を再発見しよう～

2025年8月1日(金) 14:00～16:00

旭川市立大学 教授 江口 尚文

日本各地で観光客によるにぎわいが地域の経済を活性化させている。来訪者の増加は旭川の地域戦略にも不可欠である。それには地元の魅力を発信することが重要になる。だが私たちは旭川を十分に知りえていない。まず、自分たちが地元を知る必要がある。そういう使命感の下、私たちが知らなかった地元の魅力を整理して再発見したい。

<旭川の魅力>

- ①世界に誇る極上の雪質を体感できる都市型スノーリゾート都市である
- ②就航率99パーセントを誇る、北海道のまん中に位置する空港を持つ都市である
- ③自然と都市機能が調和する中心市街地を持つ上川中部に位置する拠点都市である
- ④旭川のまちなかは豊かな自然に恵まれ、便利な都市機能が集積する。その象徴は駅周辺開発事業「北彩都あさひかわ」により整備された中心市街地を持っている
- ⑤旭山動物園では、動物それぞれの本来持つ特徴的な能力や行動、感性を発揮できる展示方法で全国的な知名度を有し、観光スポットとなっている
- ⑥旭川家具・クラフトは優れた機能性と洗練されたデザインで、国内外で高く評価されている。2019年、旭川市はユネスコ創造都市ネットワークの加盟都市にデザイン分野で認定されている
- ⑦市内の歴史・文化施設では、自然と共に暮らしてきたアイヌの人たちの文化や、上川開拓の歴史、これまで築き上げられてきた文学や彫刻などの個性豊かな文化に触れることができる
- ⑧豊かな自然に育まれた食。国内有数の米どころである。また、ラーメンも全国的に「旭川ラーメン」として、150軒以上がしのぎを削る人気フードとなっている

※次ページ道内主要都市小売店の販売力係数資料から

小売店販売額 46,227,800 万円

- | | |
|--------------------------|-----------------|
| 1. 小売店販売額÷人口＝一人あたり小売店販売額 | 2. 1市8町の販売力係数 |
| 全 国 = 96.1 万円 | 全 国 = 96.1 万円 |
| 北海道 = 109.3 万円 | 旭川市 = 136.1 万円 |
| 旭川市 = 136.1 万円 | 東神楽町 = 100.6 万円 |
| 札幌市 = 103.7 万円 | 美瑛町 = 106.0 万円 |
| | 比布町 = 54.5 万円 |
| | 鷹栖町 = 54.5 万円 |

道内主要都市の販売力係数

(資料:2014年商業統計調査、人口は2015年国勢調査)

順位	道内主要都市	小売店販売額 (万円)	人 口	1人あたり小売店 販売額(万円)	販売力係数 (÷全国)
	全国	12,217,672,500	127,094,745	96.1	—
	北海道	588,144,000	5,381,733	109.3	1.14
1	帯広市	26,358,700	169,327	155.7	1.62
2	旭川市	46,227,800	339,605	136.1	1.42
3	北見市	16,062,800	121,226	132.5	1.38
4	苫小牧市	18,950,500	172,737	109.7	1.14
5	室蘭市	9,646,700	88,564	108.9	1.13
6	函館市	28,663,900	265,979	107.8	1.12
7	札幌市	202,471,500	1,952,356	103.7	1.08
8	小樽市	12,546,700	121,924	102.9	1.07
9	釧路市	17,765,000	174,742	101.7	1.06

小売店販売額÷人口＝1人あたり小売店販売額

全 国	=	96.1万円	→	(1)
北海道	=	109.3万円	→	(1.14)
旭川市	=	136.1万円	→	(1.42)
札幌市	=	103.7万円	→	(1.08)

1市8町の販売力係数

(資料:2014年商業統計調査、人口は2015年国勢調査)

順位	1市8町	小売店販売額 (万円)	人 口	1人あたり小売店 販売額(万円)	販売力係数 (÷全国)
	1市8町(計)	50,556,000	392,745	128.7	1.34
1	旭川市	46,227,800	339,605	136.1	1.42
2	美瑛町	1,090,800	10,292	106.0	1.10
3	東神楽町	1,029,800	10,233	100.6	1.05
4	上川町	397,300	4,044	98.2	1.02
5	愛別町	243,200	2,976	81.7	0.85
6	東川町	540,100	8,111	66.6	0.69
7	当麻町	557,400	6,689	83.3	0.87
8	比布町	206,000	3,777	54.5	0.57
9	鷹栖町	263,600	7,018	37.6	0.39

全 国	=	96.1万円	→	(1)
旭川市	=	136.1万円	→	(1.42)
東神楽町	=	100.6万円	→	(1.05)
美瑛町	=	106.0万円	→	(1.10)
比布町	=	54.5万円	→	(0.57)
鷹栖町	=	36.6万円	→	(0.39)

<講義風景>



屯田兵村史に観る北海道開拓の諸相

2025年8月8日（金）14：00～16：00

旭川市立大学 名誉教授 竹中 英泰

北海道を語る上で屯田兵は必須アイテムだろう。

①始まりという意味で象徴的に語られるのは、明治8年に琴似に入った屯田兵だ。
②兵という意味では日露戦争や日中戦争での殉死者が多数にのぼり、37兵村の多くで今も語り継がれている。③制度が無くなってからそれぞれの地域のまちづくりとのかかわりは多様だ。そのうち「共有財産地」をめぐるのは、その地に小作人を呼び込みあるいはそれを担保に灌漑用水施設建設に充て稲作地帯として確固たる基盤を築いた上川盆地がある。

④そして、開拓から経済発展へという脈絡でいえば、自らが育てた市街地の隆盛に伴い、そこに置かれた種々の行政機関や商工業者の成長に比し農村地域の相対的な地位低下がある。明治2年に北海道に開拓使が置かれて150年余の年月は、それぞれの地域での原野の開拓→農地の番外地に置かれた商工業者の成長→1次産業から2次産業・3次産業への高度化、したがって屯田兵による開拓の相対的な地位低下を凝縮して見せる。以下、それぞれについて関連事態もふくめてより具体的にふくらませてみよう。

① 明治8年の琴似屯田の前後には、自由移民や無願開墾などがみられた。伊達などの士族開拓があり、さらに十勝地域では、晩成社など会社組織を立ち上げた開拓があった。坂本直寛など宗教を軸にした浦臼の聖園農場や北見の北光社などがあった。

② 旭川にある北海道護国神社は「国事殉難者並開拓に殉じた屯田兵」、「全道の英霊の総祀社」、さらに第二次大戦にいたる英霊を合祀する。

③共有財産地に関しては、共有財産地を基盤に作られた野付牛殖産合資会社は、帯広にて財を成した高倉安次郎らの実業家と連携して北見の市街地造成に一役買っている。

④明治8年の琴似から始まった屯田兵制度は、明治37年にその歴史的任務を終えた。多くの地域は平凡な町村の一部に変わりつつある。経済的には1次産業から2次3次へと産業全体が高度化し都市化していく過程において相対的地位を下げていった。しかし、原野を切り拓くという全く新しい体験、不屈の頑張り、日本伝来の道徳的気風とはちがった進取性を「屯田魂」として残していた。

<講義風景>



デザイン都市サブネットワーク会議 2024～未来をリードする旭川デザイン～

2025年9月6日(土) 13:30～15:30

旭川工業高等専門学校 教授 浜田 良樹

(あさひかわ創造都市推進協議会アドバイザー)

本講演は昨年のお話の続きになる。

長らく旭川市は優れた家具デザインを街の個性として掲げてきて、家具五大産地として認識されてきた。デザインを街づくりに生かそうとするアイデアは、1990年代の終わりに全国的なブームが発生し、旭川でも1997年に「旭川デザインビジョン」という冊子を刊行している。これは当時の産学官金が協力して執筆し、外部のシンクタンクに委託したものではない。しかし、様々な政策を提言したものの何をなすべきかが絞り込めず、いつの日か忘れられてしまった。それから20年ほどして、2015年、旭川家具産地展は他の産業を巻き込むべく、「旭川デザインウィーク」と改名する。デザインによるまちづくりを加速させるため、「あさひかわ創造都市推進協議会」を結成し、世界的な認証を得るべく「ユネスコ創造都市」という国際的な枠組みに応募し、2019年10月にデザインのサブネットワークメンバーとして認定されたのである。

旭川市はこの機会を生かすべく、コロナで視察も交流もできないなか、非常に熱心に自分だけの「デザイン都市」を作り出そうと産学官金で努力を重ねた。旭川の未来というのは「強い、大きい、速い」ではなく、自然と共生する身の丈にあったものとなるだろうと考え、皆が手探りでいろいろなことを試みた。この過程で生まれてきたアイデアが「まちなかキャンパス」である。買物公園に多数のテントを立て、スタンプラリーで小学生を招き、高校生や大学生が自らの探求学習の成果をアピールするというもので、2022年6月以降4回開催され、強い共感を得て、毎年6万人以上の来場者を得る学びの祭りとなった。

2022年、コロナが収束し、サブネットワークのリアルな会合に出席するようになる。そこでこのようなことが日本の北海道の奥地で行われているということを紹介したところ、“Education” “Community Engagement”という研究会において激しい反応があり、詳しい話を聞かせろと言われるようになった。デザインを街づくりと結び付けて考える人材の養成ということを実現できた例として有名になったのである。もちろん、30万人程度の小さな都市、自然と都市機能が調和している街、卓越したデザインの製品を作り出す街という観点からも、類似した都市がない。旭川は急速にそのレピュテーションを上げていく。

2022年7月、今津寛介市長がブラジルのサントスで開かれた7分野全部の「ネットワーク会議」に出席し、プレゼンを行った。2022年11月、リトアニアのカウナス(外交官の杉

原千畝が滞在した都市)で開催されたサブネットワーク会議には浜田が出席し、2024年の「サブネットワーク会議」のホストを引き受ける用意がある、との日本語の文書を英語で代読した。2023年3月、HIDERAの定居美徳氏がオーストラリアのグレータージーロンで開催されたサブネットワーク会議において、詳しいリクエストを聞き込み、それらをもとに、2023年7月、市長以下8名でオンラインによる招致演説に及んだ。定居氏が司会し、今津市長、渡辺創造都市推進協議会会長、そして浜田が交代でスピーチし、最後にはみんなですべて”Welcome to Asahikawa!”と書かれた横一文字を持って、11分の演説を終えた。その時の相手はソウルとドバイで、投票総数は28票だったが、旭川はそのうち21票を獲得し、大勝したのである。「24年サブネットワーク会議」という大プロジェクトの始まりである。

定居氏の調査により、彼らは「日本に来る」機会を喜んでいる、たっぷりの自由時間がほしい、日本を知りたい、温泉に行きたいなど数々の要望をもって来旭することがわかった。そこで、午後2時半から午後5時までを会議タイムとし、それ以外は全部エクスカージョンとするという形をとることにした。日本人ならではのおもてなしをという精神を関係者一同徹底して共有し、例えば帰りの旭川空港では飛行機のチェックインの手伝いまで行った。参加者は、21か国24都市40名に上る。旭川市が主催した国際会議としては過去最大規模であった。

10月20日(日) 夜景見学、日本文化紹介(鯉すしの女将の講演)

10月21日(月) 江丹別の森で植樹、日本音楽紹介(琴、尺八)、会議

10月22日(火) デザインセンター、カンディハウスなどの視察、午後会議、ウェルカムパーティー

10月23日(水) 上川神社、北彩都、ステーションギャラリーなど見学。午後会議、居酒屋

10月24日(木) 東川コース、美瑛コース、市内コースの見学。午後、総括会議。旭川デザイン宣言採択。ミニまちなかキャンパス見学。その後、クロージングパーティー。

10月25日(金) 旭川博物館、工場、一部の元気な人たちが層雲峡温泉へ(ビジターセンター、写真館など)

10月26日(土) 解散。多くがそのままデザイン都市である神戸(27日(日)、名古屋(28日(月))を視察。

旭川会議では、「デザイン都市宣言」というコミュニケが発表・採択された。その宣言は、豊かさの代償としてICT依存、気候の極端化などの発展の副作用がもはや看過できないレ

ベルに達した。デザインは「イロ、モノ、カタチ」から脱皮し、これらのショックを緩和し、持続可能な社会の基礎的な知恵として、人を幸せにするための考え方であるべきだというものである。

あえて初日に江丹別に植樹に行き、清澄な空気を吸った参加者たちは、旭川ではみどりと都市機能がごく近くにあること、みどりの大切さを痛感していたから、社会と自然の調和を図るデザインというコンセプトに強く納得したのである。

もう一つのこだわりは、高校生・大学生など若者と参加者の接点を非常に重視したことがある。日本文化の代表として茶道と書道を選定、月曜日から木曜日まで毎日高校生が現れて展示と実演を行ったり、手紙を書いたりした。もちろんまちなかキャンパスも見せることになり、屋内にブース展示をするという形で再現し、市内の大学、高校、高専が11の展示を行った。

総括として、ある参加者が、今回の旭川会議にかけた経費と熱量は、8分野全部の総会を思わせる立派なものであったといった。別な参加者は、旭川は世界に誇るデザインについて考えた都市だと言った。その通り、国内では通り一遍の報道しかなかったが、参加各国における旭川への期待値はめざましく上昇した。24年12月、旭川に数か月滞在し、留学したいという申し出が来た。旭川市立大学が受け入れる予定である。浜田自身もデザイン都市であるタイのチェンライを訪れる計画を立てたが、向こうでの反応はやはり激烈で、講演会が仕立てられるなど準備がなされた。諸事情で25年3月の訪問は果たせなかったが、26年3月に改めて行く予定である。

何もない街、つまらない街、自己主張しない街だった旭川だが、着実に国際ステージでその知名度と存在感を高めている。しかし、サブネットワーク会議があまりにも迫力があつたため、関係者一同がやや燃え尽きの感がある。当初の興奮は冷めつつある。今なすべきことはデザインの理論的な支柱として承認された「旭川デザイン宣言」に沿ったアクションプランを立て、もう一度歩き出すことである。

< 講義風景 >



口から始まる健康長寿～オーラルフレイルとフレイルを知って未来も健やかに～

2025年9月26日(金) 14:00～16:00

旭川医科大学医学部看護学講座 教授 山根 由起子

旭川ウェルビーイング・コンソーシアム「あさひかわオープンカレッジ」において、「口から始まる健康長寿」をテーマに講座を実施いたしました。本講演には17名の市民の方が参加され、全員からアンケートを回答いただきました。

本講座では、オーラルフレイルの理解から始め、口腔・咽頭機能の役割、口腔・咽頭機能低下が身体的フレイルと関連することや日々のセルフケアの重要性について説明いたしました。参加者には、口腔機能セルフチェック(口の中の乾燥・歯数・発音・咀嚼・嚥下の5項目)を行っていただき、オーラルフレイルを身近に捉えていただく機会となりました。

講座中は、「パ・タ・カ」発音練習、ストローを用いたトレーニング、全身を使った運動、隣席の方とのディスカッション(健康のために実践していることやできそうなことの共有)など、参加型の内容を多く取り入れ、和やかな雰囲気の中で進行しました。

加齢に伴う声帯機能の変化や、日常生活に取り入れられる運動、栄養・社会参加の重要性については、「食べる・話す・笑う・動く」という総合的な健康づくりの視点を強調いたしました。「いつまでも自分の口で食べることを楽しむ」のをねらっており、オーラルフレイルやフレイルが他人事ではなく、自分ごととして考えて行動することが重要です。

参加者の反応やアンケート結果からは、回答率100%(17名)で、開催時期が適切(100%)、開催時間が適切(88%)で14時から開始でしたが、もう少し早い時間が良い人と夕方の開催を希望する人が各1名ずつありました。本講座を何で把握されたかは、AWBCからのチラシ・ポスターで知り、参加された方が多かったようです。

アンケートの自由記述からは、「大変参考になり、楽しく受講できた」「体験もあり、わかりやすかった」「オーラルフレイルとフレイルの違いが理解できた」「日常生活に取り入れたい」「またやってほしい」「身体も使って、学術的な内容も学べた」など前向きな感想が多数寄せられました。

参加者の皆さまは60～80代が中心であり、オーラルフレイルやフレイルはまさに生活に直結するテーマであることから、非常に高い関心をお持ちのようでした。体験型のプログラムにより、自身の口腔機能や日常の健康行動を見直すきっかけになったとの声がきかれ、本講座を有意義だと感じていただけていましたら幸いに思います。

今後も、地域住民の健康維持・介護予防に向けて、口腔機能・栄養・運動・社会参加をつなぐ視点からの啓発を継続していくことが重要であると考えております。

<講義風景>



「美について」—ひととはなぜ『美』を求めるのか?—

2025年10月10日(金) 14:00~16:00

旭川工業高等専門学校 名誉教授 白井 暢明

構成と要点

I 美を表す言葉、定義:「美」とは?

- 「美」を表す語の普遍性—世界中の言語には「美」がある。
- 「美」の意味(「美」の共通性、普遍性:快感、合理性)

II 美的感覚(芸術)の意義・目的—人間固有の「美的感覚」はなんのためにあるか?

- 「美」的感覚と「知性・理性」との関係
- 「美」と生命力

III 「美」と自然—「美」は「自然の一部」か、それとも人間が創りだした固有の「文化」か?

- 自然に美が内在していると同時に、人間文化としての「美」があり、「美」は人間に固有の精神的能力?でもある。

インテルメッツォ(間奏曲):「美」の「聖(非日常)性」—呪術・宗教との関係

IV 「美」における精神と身体との関係

- 「美」=精神と身体のバランスをとるもの(エロス、エクスタシス、プラトン、孔子)

V 「美」と倫理(善悪、教育)

- 「美」はと倫理と深い関係を持つ=美的教育の重要性(カント、シラー)

VI 日本的「美」意識について

- 「美」の表現の多様さと滅び(死)の美学

VII 「美」と文化・社会—「美・芸術」の社会的意義

- 美は幸福を約束するものであると同時に、社会に「調和」をもたらし、人々に「快」と「共感(社会的協働)」を生み出す

結論

- 「美」は本来感性的能力ではあるが、理性とも関連している。更に、理性(概念的)的には

得られない「真理（真実）」を「象徴」などを通じて人間に体験させるものである。

●「美的感覚・感性」は全ての人間が持つ普遍的な能力であり、精神的な領域での「調和」を生み出し、それを通じて世界の「平和」に貢献する本質を持っている。

●「美」的創造力は、新たなる生命力の生産、生の高揚、精神の高揚を産み出す。

<講義風景>



「デザイン都市」旭川の源流

2026年10月18日(土) 13:30~15:30

東海大学 名誉教授 大矢 二郎

旭川市は2019年に「ユネスコ創造都市ネットワーク」への加盟が認定された。このネットワークは2004年に発足した組織で、経済的、社会的、文化的、環境的側面において、創造性を持続可能な開発(SDGs)の戦略的要素とする都市間の協力強化を目指すものとされる。分野には、文学、映画、音楽、クラフト&フォークアート、デザイン、メディアアート、食文化の7領域があり、その内のデザイン分野では現在、世界の49都市が、我が国では神戸市、名古屋市及び旭川市の3都市が認定されている。

旭川市のデザイン都市認定には、上川地域における木工家具産業の「デザイン」をキーワードとする産業振興への取り組みが大きく寄与している。この地域では元々周辺の豊かな森林資源を背景に木工家具産業が成立しており、我が国の6大家具産地の一面に数えられてきた。早くも大正時代に職人たちの再教育を目的とする「木工品伝習所」を開設するなど、官民一体の木工振興策が「家具の町・旭川」の基礎を築いてきた。

戦前、戦後の厳しい経済状況の下、一時は木工業界が深刻な不況に見舞われることもあったが、1955年、旭川市に「旭川木工芸指導所」が開設され、初代所長に松倉定男が就任したことが契機となって木工家具におけるデザインの重要性が徐々に業界に浸透していった。「松倉塾」とよばれた勉強会に集まった青年たちの中に、その後、斯界で活躍する竹沢英夫、長原實、中村昇、桑原義彦らがいた。1972(昭和47)年、五十嵐広三市長の研究学園都市構想に応じる形で旭川市忠和に東海大学工芸短期大学が開学、1977(昭和52)年の北海道東海大学芸術工学部への改組を経て2014年の閉校に至るまでに多くのデザイナー、技術者を養成した。当初、松倉も教授陣に加わっていた大学の教育理念はドイツのデザイン学校バウハウスのそれに重なるものが多かったといえる。

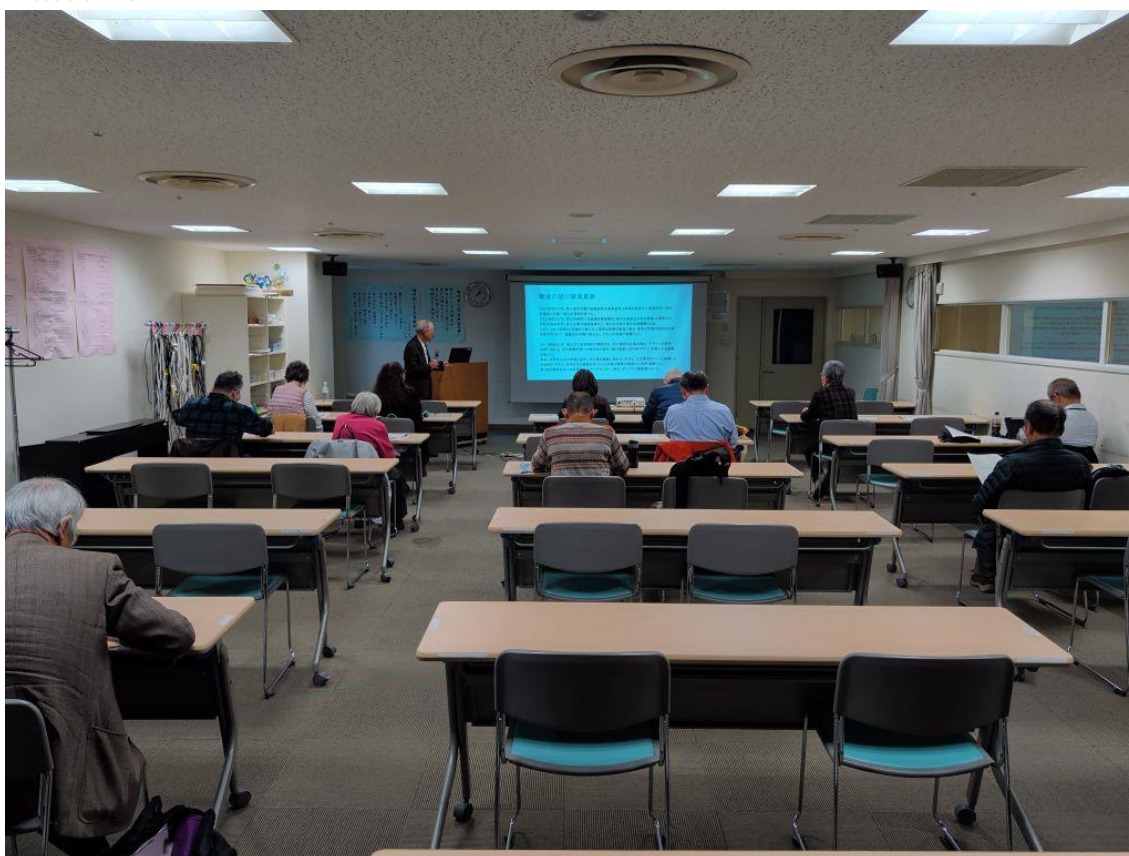
旭川の木工家具が世界的な注目を浴びる契機となったのが1990年に第1回を開催、その後も3年に1度のトリエンナーレ形式で続いている「国際家具デザインフェア(IFDA)」だ。

1回目は旭川開基100年の記念事業に位置付けられ、各種展覧会やシンポジウムの他、国際家具デザインコンペティションが実施され、18カ国1地域から472点の応募があった。フェアの開催に当たっては産・学・官の連携が図られたが、就中、旭川家具工業協同組合理事長・長原實と北海道東海大学教授・鈴木庄吾の先導的な役割が大きかった。また、「木の家具百年百人百選」展に当たり全面的な協力を惜しまなかった近代デザインの研究者・織田憲嗣がその後、東海大学に招かれ、1500点を超える椅子を中核とする「織田コレクション」と共に旭川へ移住してきたこともフェアがもたらした結果だ(現在、同コレクションは東川町が所有している)。コンペティションは回を重ねる毎にデザイナーの登竜門としての国際

的な認知度が高まり、12回目となる昨年（2024年）も38ヵ国・地域から655点の応募作を集めた。

コンペティションは、入賞・入選作が地元企業によって商品化されることも多いが、入選を逸した作品が家具メーカーの目に留り製品化される事例もあり、そのデザイン開発への貢献度は大きい。

< 講義風景 >



英単語からせまる英語の世界

2025年10月25日(土) 13:30~15:30

北海道教育大学旭川校 講師 福嶋 剛司

本講座では、私たちが普段何気なく接している英単語がどのような歴史的背景を持ち、どのように現在の形になったのか、その変遷と仕組みについて身近な例を中心に考えてみました。英単語は暗記するしかない単なる文字の羅列ではなく、その背景には長い歴史と文化に影響を受けたものが多々あることを見ました。

現代英語の語彙構成を見ると、英語本来の「ゲルマン語系」は16%に過ぎず、残りの多くは「フランス語系(約21%)」や「ラテン語・ギリシャ語系(約40%強)」などの外来要素で占められています。これは、5世紀のゲルマン人の侵入による英語の始まり、1066年のノルマン人の征服によるフランス語の流入、そして15世紀以降のルネッサンスによる古典語の復権といった歴史的な出来事が深く関わっています。

そして上記の歴史の流れにより、英語の語彙には出自の異なる3種類が同時に存在することとなり、英語には「語彙の3層構造」と「棲み分け」が生まれました。例えば、動物の「cow(牛)」は英語本来の語彙ですが、食肉としての「beef(牛肉)」はフランス語由来の語彙です。これは当時、支配階級であるノルマン人(フランス語)が肉を食べるときに使っていた語彙、支配される側の農民(英語)が家畜を育てていたとき使っていた語彙という社会構造が言葉に残った「棲み分け」の事例です。また、英語本来語は「日常的・温かい」、フランス語系は「洗練・教養」、ラテン・ギリシャ語系は「学術的・堅い」というニュアンスの違いがあります。これは日本語における「和語」「漢語」「外来語」の3層構造と似たところもあり、日本語との対比を通じて英語の持つ言葉の重みの違いについて考えました。

そして語彙は文字だけでなく、発音にも社会的な背景があります。/r/の発音について、イギリスでは発音しないことが標準(知識人階級)とされる一方、アメリカでは逆にしっかりと発音することが社会的地位と結びつく傾向にあることなどを、映画の事例や社会言語学の実験結果を交えて紹介しました。

さらに現代では、テクノロジーの進化と共に「google」や「Uber」といった固有名詞が動詞化するなど、英語は今この瞬間も変化し続けています。

本講座を通じて、参加者の皆さまが英単語一つひとつに刻まれた歴史の物語を感じ、英語の世界をより深く、楽しく捉えるきっかけとなれば幸いです。

<講義風景>



不適切な保育の今昔～昔の常識、今の非常識～

2025年11月1日(土) 13:30～15:30

旭川市立大学短期大学部 准教授 棚橋 裕子

昨今、保育業界では不適切保育という言葉が多く聞かれます。日本における「不適切」の概念は、ここ数年で大きく変わりました。昔の躰はともすれば今の時代では虐待と言われかねませんし、その線引きは保育現場でも未だあいまいであると言われていています。本講座では、不適切の実態や原因について、行事や保育・教育の変化などを例に参加者のみなさんと一緒に考えていきました。

はじめに、行事で見る今と昔の比較について、運動会を例にお話しいたしました。

競技やダンス、組体操などの演技もある運動会は、日本独特のもので(諸外国には競技会、スポーツ大会はあったとしても、地域の年中行事に該当するようなものはない)。明治期に始まる運動会は、児童生徒の集団的資質の向上、規律意識の遵守、所属集団への帰属意識を育成することを目的に始まり、富国強兵に役立つ人格を完成させるための有効な学校行事とされていました。しかし、①コロナ禍を経て行事の意義の捉えなおし ②危険な種目の廃止 ③勝敗を優先しない傾向(過程を重視) ④多様な種目の導入 などの理由から、行事としての運動会の捉え方が変わっていきつつあります。重視されるべきこととしては、①その年の子どもの実態に合わせた内容の工夫など、子どもの主体性を重視した教育に重点 ②集団の規則やルールよりも、子どもの思いや願いを重視する傾向 ③個々の子どもの思いや願いを尊重していくところに保育者の専門性が問われる時代への推移などが挙げられます。

保育業界では、多くの園において、練習の成果を華やかに魅せる行事から日常の保育のつながりを意識した行事の在り方をめざす方向に徐々にシフトチェンジをしています。大人の指標で作成されたプログラムをこなすだけでなく、子どもが自らの育ちを意識していけるような日常生活の先に行事があるとすれば、その次の段階を子どもたち自身が考え築いていくことが可能になるからです。教授を受けたことを身につける時代から、興味をもったことに対し子どもたちが試行錯誤をしながら協働的に作っていくことが適であるという考え方に変化していることを確認しました。

また、学校教育全般における教育理念とそれによる教育方法の変化について、「愛のムチ」「丸刈り・5分刈り・オンザ眉毛等の規則」「連絡網や卒業アルバムの個人情報記載」などを例に、現在との比較を行いました。人権意識の高まりを背景に、対話と相互理解を基本とする形へと大きくシフトしていることで、教育の捉え方はここ数年で大きく変わっています。

次いで、なぜ保育現場において“不適切”が生じるのかについて、普光院亜紀氏の論を援用しお話しいたしました。一つは、保育という業界は止めることができないライフラインであるということです。某市にて保育士が園児に対し虐待行為を行い起訴されたにも関わらず、事件後も保育園の存続を求める嘆願書が提出されるという事態が生じました。また、不適切な保育事例が確認されたとしても、事件化することで人員不足により設置基準が満たされなくなる懸念から、自治体が対応を躊躇したというケースも報告されています。これらのことから、保育現場では人権や保育の質を語る以前に慢性的な保育者不足の実態があること、また、子どもの受け入れ場所としての保育が止まることは社会の動きが止まることと同義であることが理解できます。保育には、不適切な保育がなくなる社会構造が要因であると言えるでしょう。二つ目として、保育は「見えない教育」であることが挙げられます。特に乳児は事情を整理し言語化することができません。また、保護者は園に子どもを預けていくため保育施設での内実を把握しにくいのが現状です。教育成果として数値化されず、なおかつ明示化されにくいことは、保育の特徴であり良さであると同時に、関わる者すべてが常に意識していくべき事項でもあります。三つ目として、保育者のキャリアパス、キャリアアップが整備されていないことです。客観的なキャリアアップの基準が確立されておらず、資格制度の階層化が整備されていないため、キャリアアップと連動していかないことで、結果として「やりがい搾取」「感情労働」といった離職にまでつながるケースが多々報告されています。

他にも、保育者の仕事量の多さと労働時間の相関性から生じる課題、保育職の専門性のあいまいさやそれを支える研修制度の必要性など、保育の質向上を担保するための社会的条件の不備があげられます。現在、日本政府の施策として保育者の処遇改善が進む中であっても、不適切な保育の報告が後を絶ちません。それは、時代とともに変容する価値観の中核に改めて子どもの人権を据え、社会構造上の課題として考えていく必要があるのだと言えます。

受講者の方からは、改めて「適切」「不適切」の線引きのあいまいさについてご質問がありました。また、お子さんの個性が認められる教育制度を求めるお声もありました。「適切」を形式として考えるのではなく、子どもの育ちのためにそれぞれが考える力が旭川市にはあるということ、本講座を通して改めて感じた次第です。

貴重な機会をいただき、心より感謝申し上げます。

< 講義風景 >



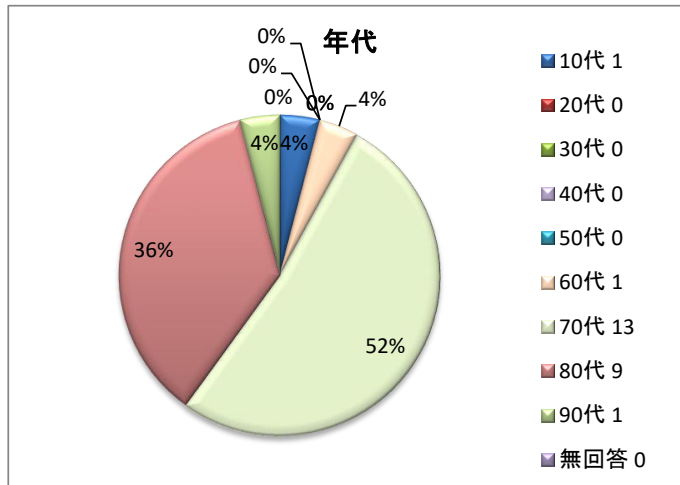
「あさひかわオープンカレッジ」アンケート実施結果

旭川ウェルビーイング・コンソーシアム「あさひかわオープンカレッジ [前期]」

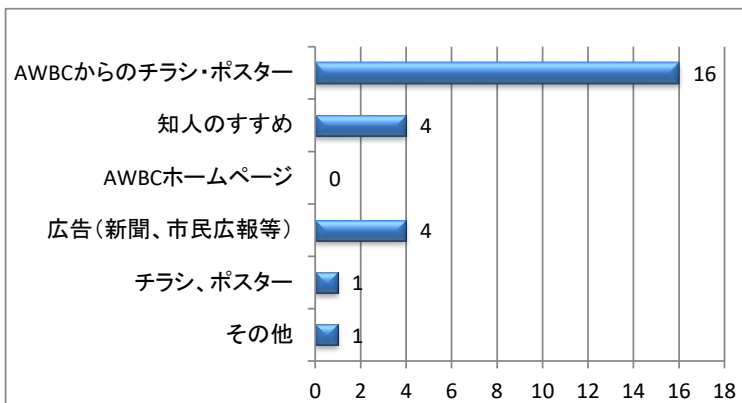
①「人生案内」～かけがえのない日々の生活のなかから～
(07/05 (土) 13:30～15:30開催) アンケート結果

受講生 27名 回答者 25名
回答率 93%

問1. あなたのことを教えてください。



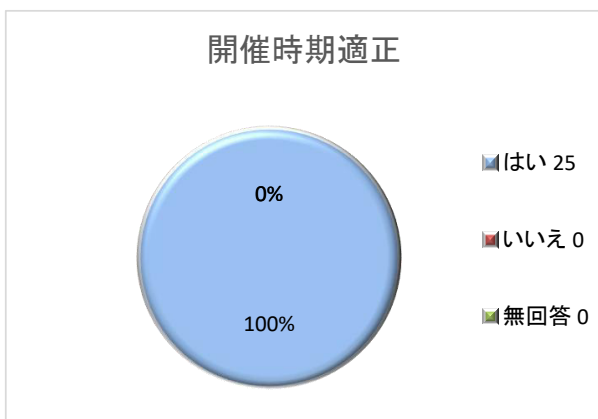
問2. 本講座の開催はどのようにして知りましたか。(複数回答可)



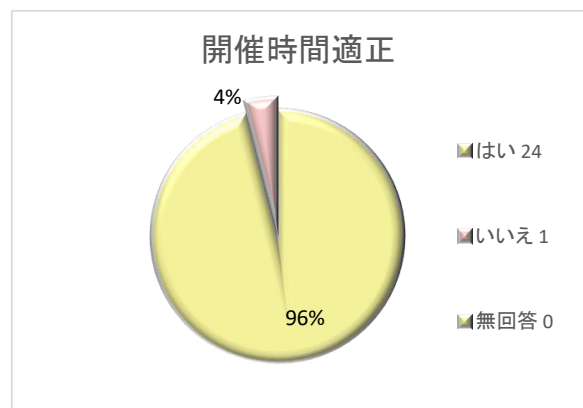
【備考】

- あさひばし
- 中央図書館
- あかり
- 講師から案内

問3. 開催時期は適切ですか。



問4. 開催時間は適切ですか。



○10時頃(午前中)

問5. 今後希望する講座のテーマをお書きください。

- 旭川市の未来像？
- 現代社会が抱える問題について考えるような講座
- 南極の話（去年の10月南極に行かれた旭川高専の先生の話を知りたい）
- なんのジャンルでも、聴かせていただける講座でしたら、ありがたく、喜んで受けたいと思っております
- 歴史の講座（世界史、日本史）
- 宗教と政治
- 信木先生にもう一度
- 人との和解（このような内容を含む講座）
- 哲学・物理学・社会問題（選挙戦で争点となっている、税・天皇制など…）

問6. その他ご感想、ご意見、ご要望があればお書き下さい。

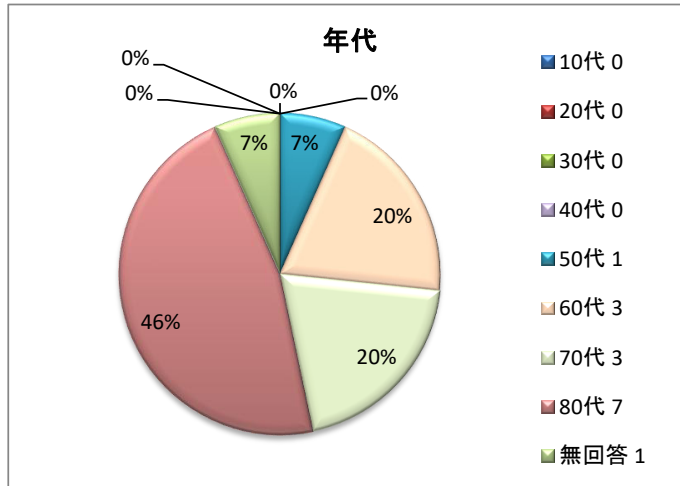
- いつも楽しく聞いています。ありがとうございます。「自分らしく生きる」本日、話を聞いて良かった（ためになった）
- 人生って…深い 改めて考えさせられた。でも和解の勧めの最後の3行ですくわれた
- 市主催のシニア向け講座が他のものと被らないようにお願いしたい。本日、クリスタルホールか公会堂で同じ時間に開催されている
- 意味のない発見を知ることが大切と知り得る事と人生は自分で考えることを学びました。ありがとうございました
- 今日の講座は、哲学的な発想の講話で難しい感覚を覚えた。日常的な知識では判断が出来ない話でした。ことばの難しさを感じた
- 2時間以上の話の時は休憩を入れてください
- 大変奥深き、意味のある講義で、ありがとうございます
- 難しかった
- 人との和解は難しい。許せないこともある。やはり自己中心的になってしまう
- 相手を「私はみているからね」という気持ちを持ち続けていきたい
- 大変面白かった

旭川ウェルビーイング・コンソーシアム「あさひかわオープンカレッジ [前期]」

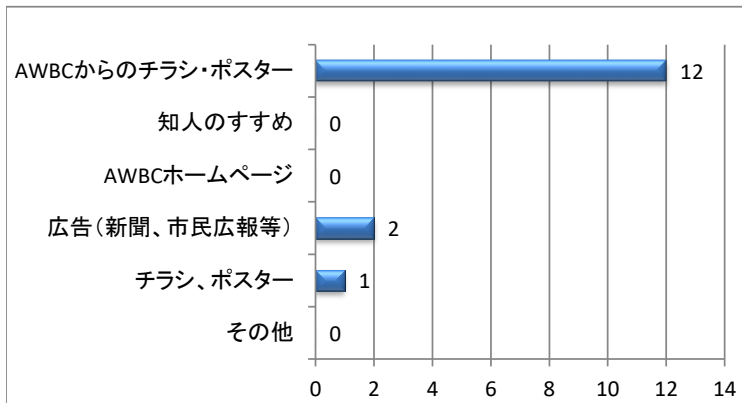
②「地域経済と観光」～地元の魅力を再発見しよう～
(08/01 (金) 14:00～16:00開催) アンケート結果

受講生 19名 回答者 15名
回答率 79%

問1. あなたのことを教えてください。



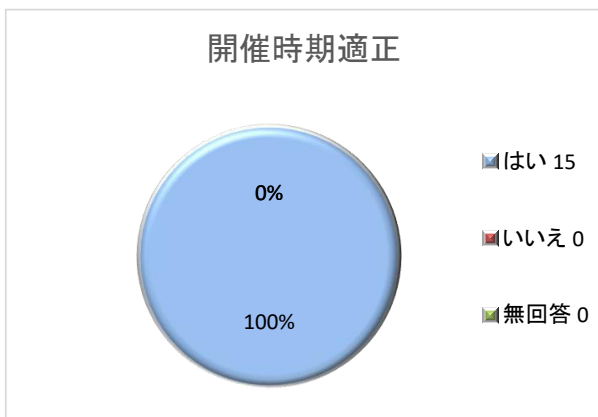
問2. 本講座の開催はどのようにして知りましたか。(複数回答可)



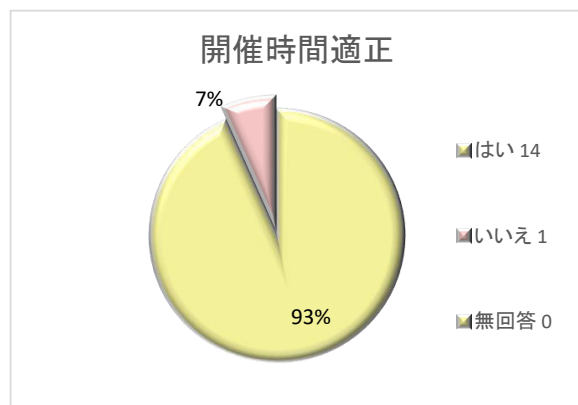
【備考】

- あさひばし
- 市役所(チラシ)

問3. 開催時期は適切ですか。



問4. 開催時間は適切ですか。



○ 13時～15時

/

問5. 今後希望する講座のテーマをお書きください。

- 旭川の街中をもっと活性化するような取り組み等、簡単な事ではありませんが、いろいろなお話を伺いたい
- 巨大スーパー(イオン)が経済に与える影響について
- 歴史・遺跡等
- 今回のような講座
- 「21世紀の森」の活性化について
- お任せします

問6. その他ご感想、ご意見、ご要望があればお書き下さい。

- 今日のようなお話は、成程旭川に住んでいながら何も知らなかった。改めて旭川の素晴らしさ、観光の大切さを実感いたしました
- 旭川の産業の発展・歴史が新しい視点でよく理解できた
- 江口先生のお話は面白く、興味深かったです
- 面白かった。講師がフルに講義をするのではなくて、質問する時間、講師とのやり取りの時間を取ってほしい。終了時間を厳守して欲しい(高齢者はバス利用が多い)
- このような講座は楽しい。歴史を感じた(昔を思い出した)
- 楽しい講座で、旭川を再発見しました。沢山わかりました。ありがとうございました
- 毎回楽しく聞かせていただいています

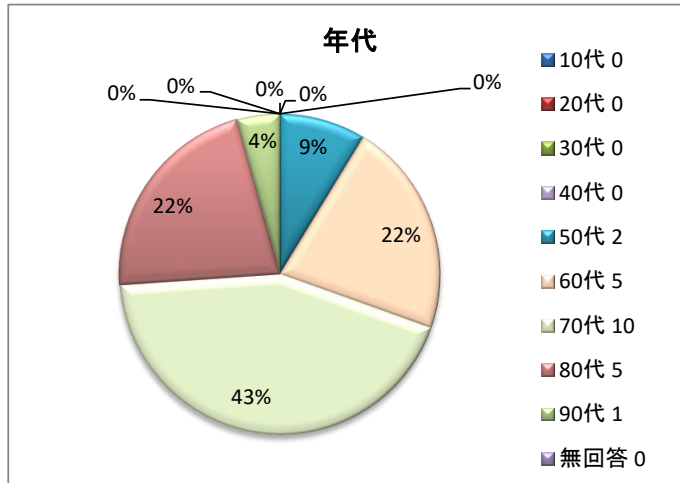
旭川ウェルビーイング・コンソーシアム「あさひかわオープンカレッジ [前期]」

③「屯田兵史に観る北海道開拓の諸相」

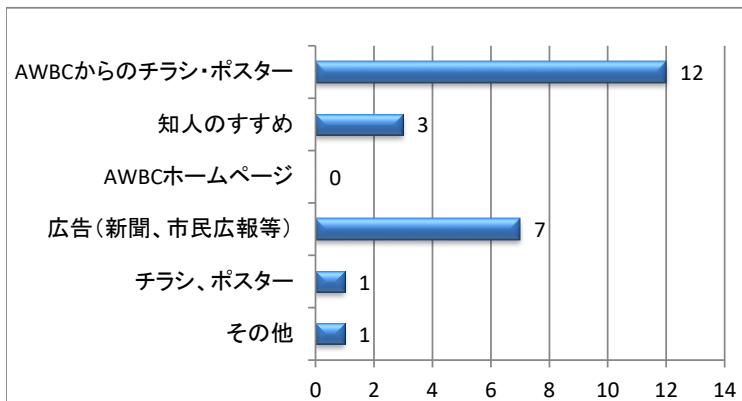
(08/08 (金) 14:00~16:00開催) アンケート結果

受講生 24名 回答者 23名
 回答率 96%

問1. あなたのことを教えてください。



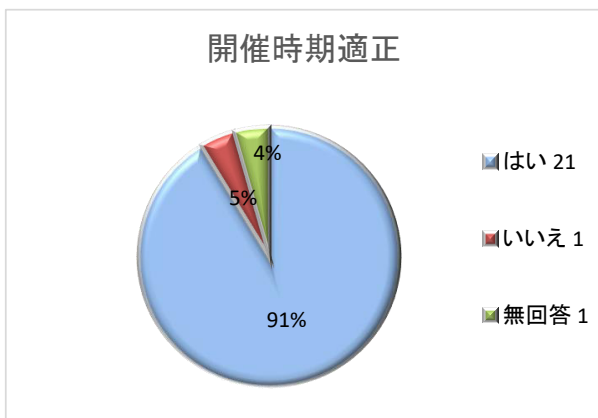
問2. 本講座の開催はどのようにして知りましたか。(複数回答可)



【備考】

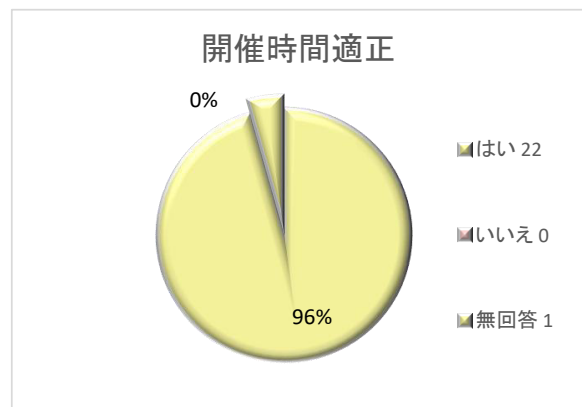
- あさひばし
- あかり
- 講師の勧め

問3. 開催時期は適切ですか。



○10月頃

問4. 開催時間は適切ですか。



問5. 今後希望する講座のテーマをお書きください。

- 本講座の続編
- 宗教団体の北海道への布教合戦
- 地域・文化・心理学の地域別性格傾向や国際比較のことをテーマとした講座
- 蝦夷とアイヌの関係
- 蝦夷とアイヌの関係

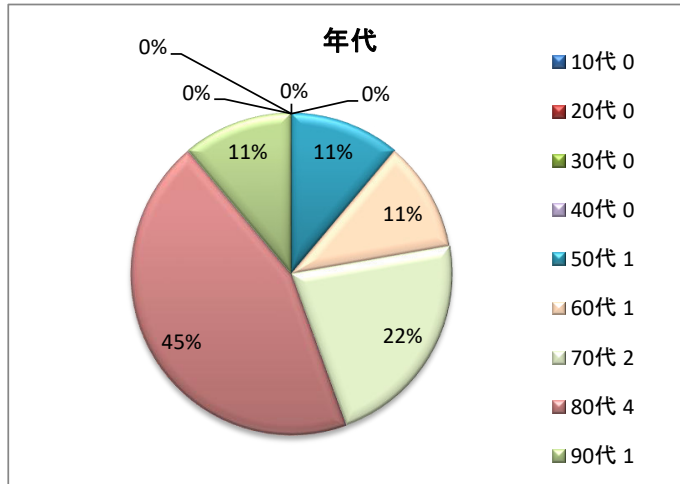
問6. その他ご感想、ご意見、ご要望があればお書き下さい。

- 内容が分かりやすく、2時間があっという間でした。もっと深い内容を次回聞いてみたいです
- 今日はとても勉強になり、楽しかったです。お盆も近いので、曾祖父母たちのお墓参りの際には、より心のこもったお参りができそうです。孫たちにも今日のお話を伝えたいと思います
- 屯田兵の理解が深まりました。「旭川兵村記念館」に行ってみようと思います
- 何時もどおりに有意義に……
- 大変楽しく学ばせていただきました。久しぶりに脳が活性化しました。ありがとうございました。屯田兵でやってきて、神楽で代表をしていた、おじいちゃんも喜んでいてと思います
- 以前から興味があった屯田兵や開拓当時の話を系統的に知ることができ、旭川の文化への理解が深まりました。ありがとうございました
- 旭川に来て40年以上経ちました。旭川の歴史、北海道開拓の歴史を学んだことがないので、興味深く学ばせていただきました。ただ、開拓の歴史の中で、先住民のアイヌの方々との関係性についての視点からは、いかがだったのでしょうか？
- とても興味深いお話を丁寧に分かり易く聴くことができました。初めての参加でしたが、感動しました。ありがとうございました
- 良く理解できました
- 詳細に亘る内容で素晴らしい！
- 50年前東京より嫁いできた「よそ者」（笑）の私には、今日の講座は大変興味深い貴重な時間でした

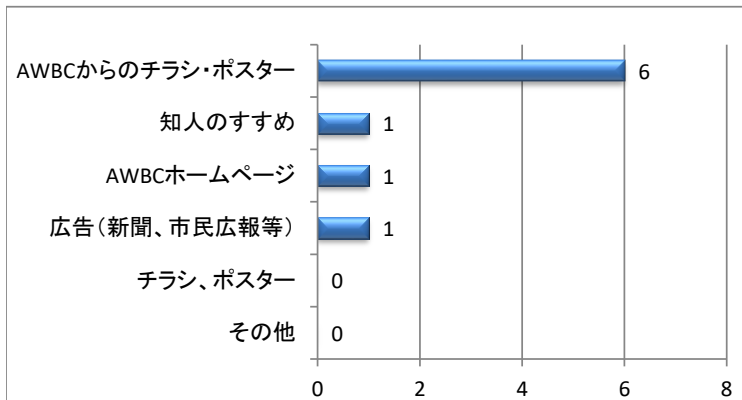
旭川ウェルビーイング・コンソーシアム「あさひかわオープンカレッジ [後期 I]」
 ④「デザイン都市サブネットワーク会議 2024～未来をリードする旭川デザイン～」
 (09/6 (土) 13:30～15:30開催) アンケート結果

受講生 9名 回答者 9名
 回答率 100%

問 1. あなたのことを教えてください。



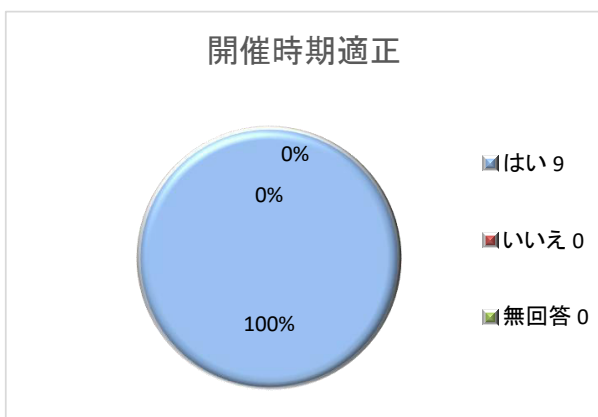
問 2. 本講座の開催はどのようにして知りましたか。(複数回答可)



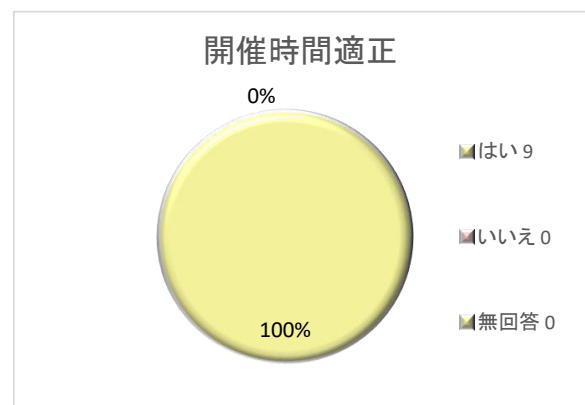
【備考】

・あさひばし

問 3. 開催時期は適切ですか。



問 4. 開催時間は適切ですか。



問5. 今後希望する講座のテーマをお書きください。

何のジャンルでもよろしいです。すべて勉強です

問6. その他ご感想、ご意見、ご要望があればお書き下さい。

デザイン都市旭川に住んでいながら、実はよく旭川の事を知らなかったです。今日の講座をお聞きして、あらためて、デザインに取り組む情熱が良くわかりました

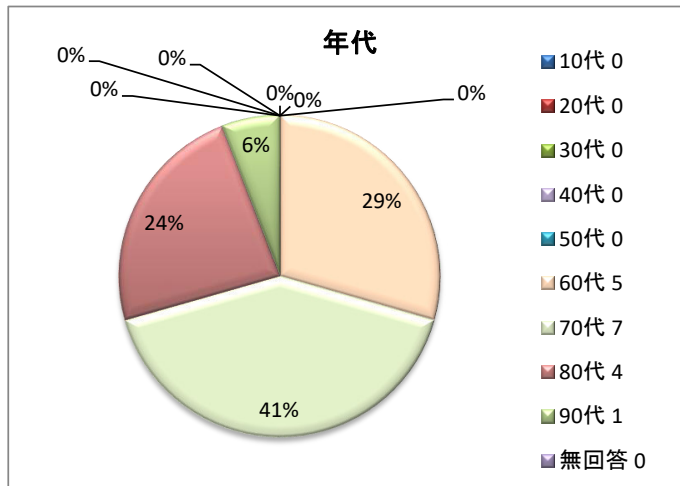
とても面白く聴かせていただきました

ありがとうございました

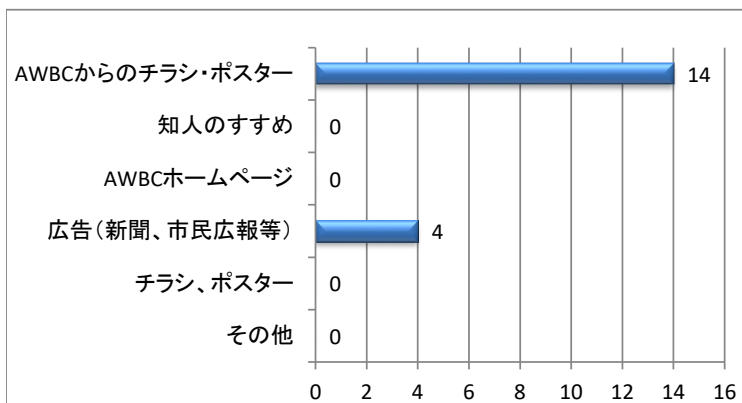
旭川ウェルビーイング・コンソーシアム「あさひかわオープンカレッジ [後期 I]」
 ⑤「口から始まる健康長寿～オーラルフレイルとフレイルを知って未来も健やかに～」
 (9/26 (金) 14:00～16:00開催) アンケート結果

受講生 17名 回答者 17名
 回答率 100%

問 1. あなたのことを教えてください。



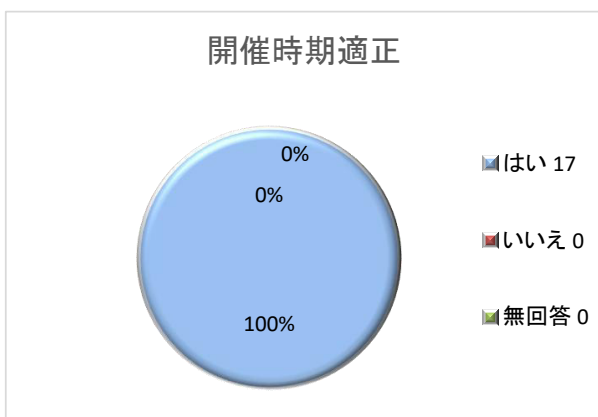
問 2. 本講座の開催はどのようにして知りましたか。(複数回答可)



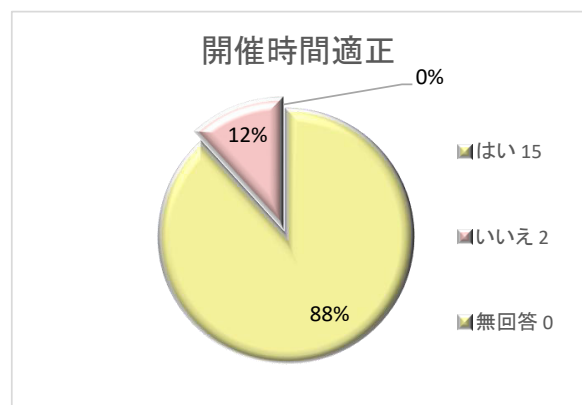
【備考】

○あさひばし

問 3. 開催時期は適切ですか。



問 4. 開催時間は適切ですか。



○ 18時頃から
 ○ 13時頃から

問5. 今後希望する講座のテーマをお書きください。

- 将来の旭川のまちづくり(①人口減少の中で)今後の対策は
- 認知症にならないためにはどのように生活したらよいか又なった時の対策
- 脳科学のアレコレ
- 私が受けられる講座ならどんな分野でもありがたいです。よろしく願いいたします
- 呼吸に関すること
- 活舌が悪くなった

問6. その他ご感想、ご意見、ご要望があればお書き下さい。

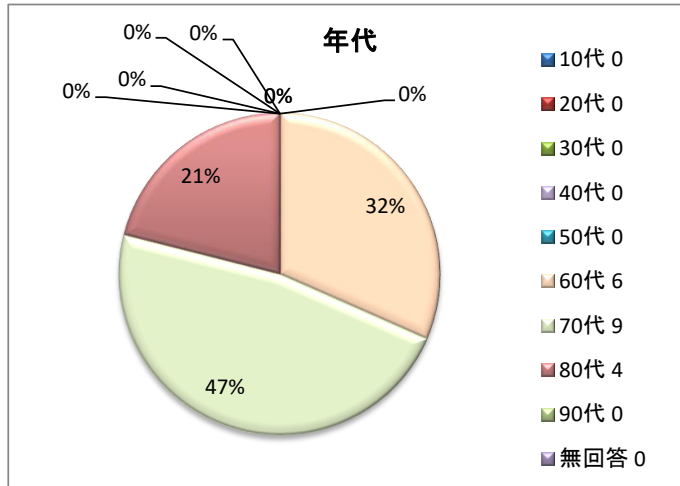
- 高齢者としては、今日の講座は役に立った。運動も体験し、楽しく聞きました
- 日本語(ぱ・た・か)以外の言語でも、機能低下を予防する訓練はありますか？
- 今日のオーラルフレイルとフレイル、私はこの違いを知りませんでした。先生の2時間講義、とてもありがたく勉強になりました
- とても参考になりました。ありがとうございました
- 身体も使って、学術的な内容も学べました。ありがとうございました
- 本日の講座は良かったです
- 今日の講義は大変参考になりました。ありがとうございました
- 自分にとってフレイルが身近な問題だと痛感しました
- またやってほしい

旭川ウェルビーイング・コンソーシアム「あさひかわオープンカレッジ [後期] I」

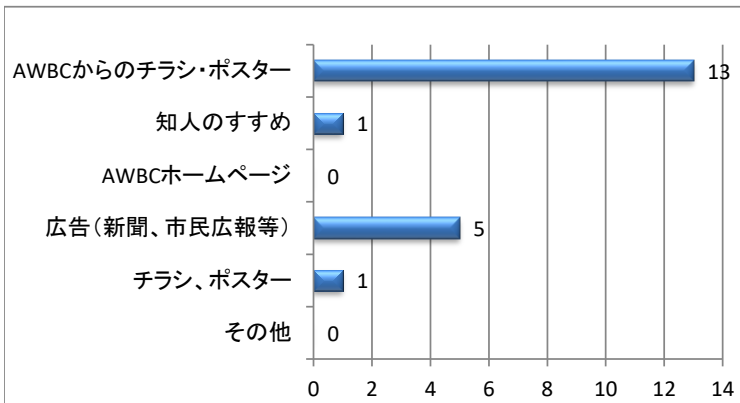
⑥「美について」—人はなぜ「美」を求めるのか？—
(10/10 (金) 14:00~16:00開催) アンケート結果

受講生 20名 回答者 19名
回答率 95%

問1. あなたのことを教えてください。



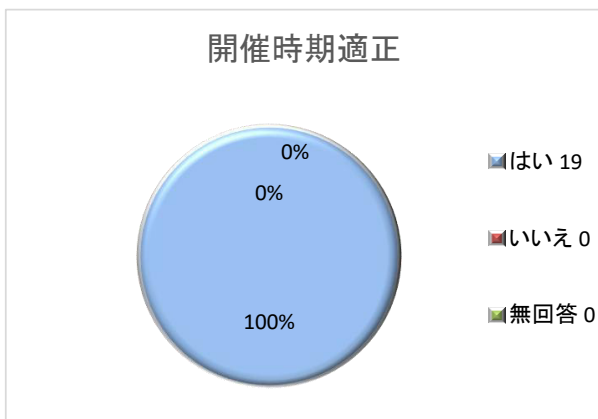
問2. 本講座の開催はどのようにして知りましたか。(複数回答可)



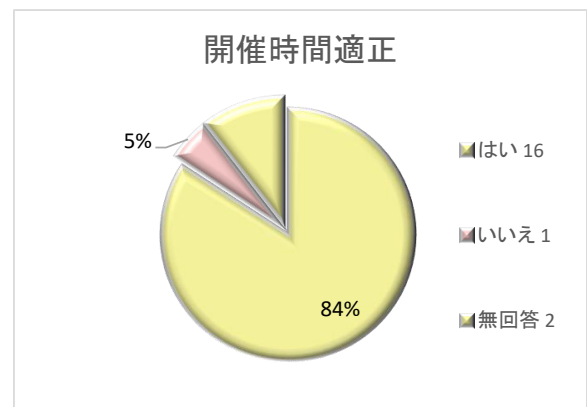
【備考】

○あさひばし

問3. 開催時期は適切ですか。



問4. 開催時間は適切ですか。



○13時30分頃

問5. 今後希望する講座のテーマをお書きください。

- 歴史・社会学・哲学
- 新陳代謝と体温について
- 認知症予防について
- 新しく開いてくださる講座でしたら、どの分野の講座でも楽しく勉強させていただきたいと思っております

○今年のノーベル賞（医学・物理学）分野の解説や関連する市内の大学・高専などの取り組みがあれば聞かせていただきたい

問6. その他ご感想、ご意見、ご要望があればお書き下さい。

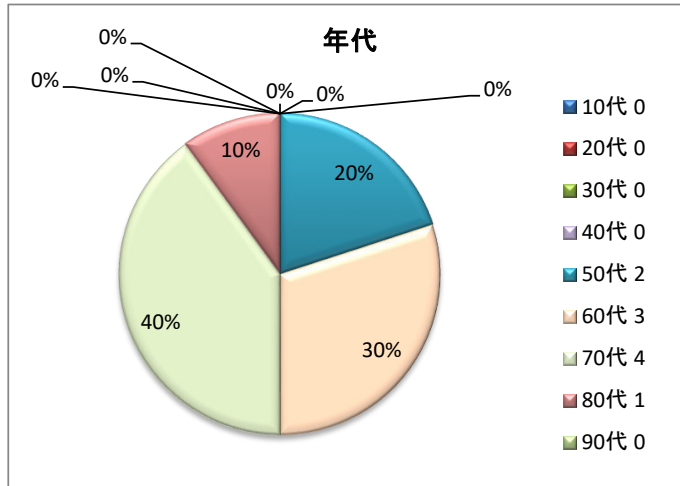
- 普段、日常生活では考えてみたことのないテーマで面白かったです
- 今日の講義は難しく、わかったような、わからないような？そんな感じです
- 何か、思っていたのと違うお話しでした
- 今回の講義は”美とは”ということに大半がつぎこまれ、”なぜ美を求めるのか”というテーマとなかなか結び付けられませんでした。理解するのに難しかったです
- 今日の白井教授の講習を受けて、美とは単に美しい、きれい等そんな簡単な言葉では表せない程、奥深い言葉であるという事が良くわかりました。間にクラシック音楽を入れて下さり、心温まる、心豊かになった講座でした。ありがとうございました。最後、フォーレ、レクイエム感動しました
- 外部の声がうるさかった
- 色々広い範囲のことが取り上げられていて良かった

旭川ウェルビーイング・コンソーシアム「あさひかわオープンカレッジ [後期] II」

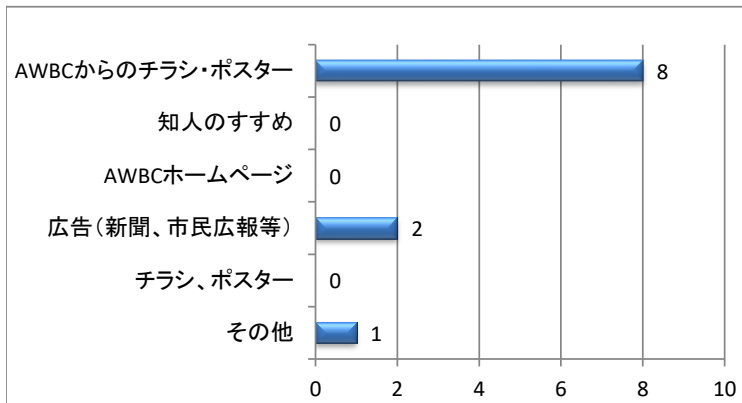
⑦「デザイン都市」旭川の源流
(10/18 (土) 13:30~15:30開催) アンケート結果

受講生 11名 回答者 10名
回答率 91%

問1. あなたのことを教えてください。



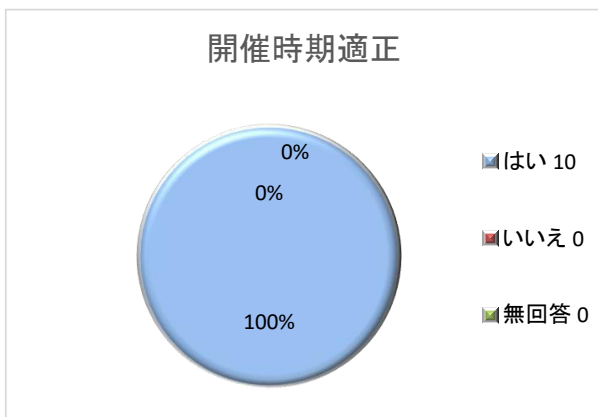
問2. 本講座の開催はどのようにして知りましたか。(複数回答可)



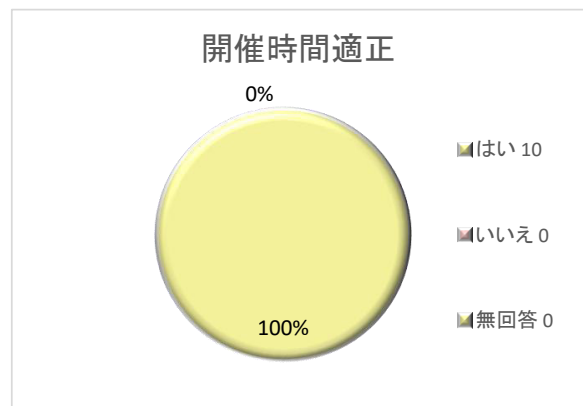
【備考】

- あさひばし
- 道民カレッジ

問3. 開催時期は適切ですか。



問4. 開催時間は適切ですか。



問5. 今後希望する講座のテーマをお書きください。

- 街、文化のデザインのお話を聞きたい
- 本講座のようなデザイン・都市・建築・旭川史など
- 次のデザインフェアのお話しも聞きたい

問6. その他ご感想、ご意見、ご要望があればお書き下さい。

- スケジュールが合えばできるだけ参加したいと思っています
- 今日の講座は大変興味深く拝聴できました
- 永原社長さんの動画が見られて感激しました(カンディハウスさんの家具のファンなので)
- 今度は、ミュージアムに行って現地で触れてみたいです。
- 旭川市が家具の街と言われていることがわかりました

旭川ウェルビーイング・コンソーシアム「あさひかわオープンカレッジ [後期Ⅱ]」

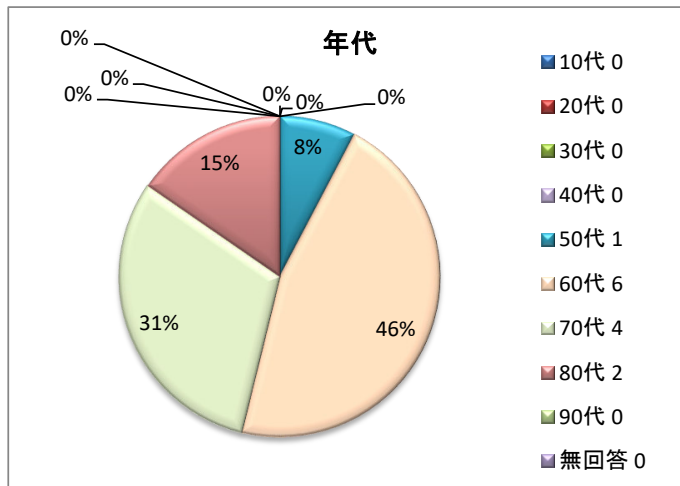
⑧「英単語からせまる英語の世界」

(10/25 (土) 13:30~15:00開催) アンケート結果

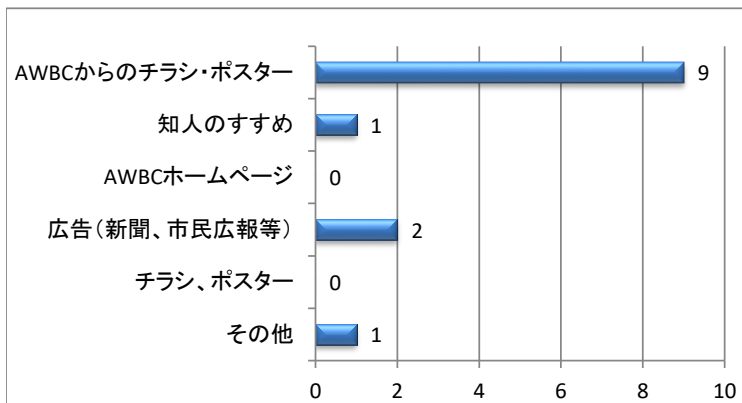
受講生 14名

回答者 13名
回答率 93%

問1. あなたのことを教えてください。



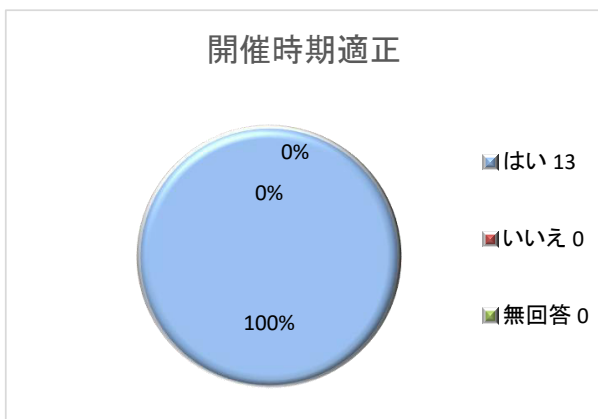
問2. 本講座の開催はどのようにして知りましたか。(複数回答可)



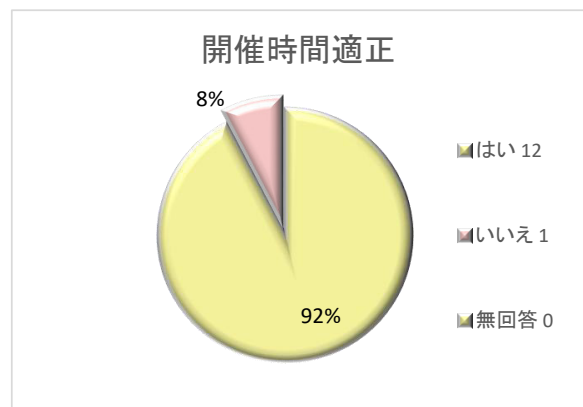
【備考】

- ・あさひばし
- ・道民カレッジ

問3. 開催時期は適切ですか。



問4. 開催時間は適切ですか。



14時頃

問5. 今後希望する講座のテーマをお書きください。

- 中国語の講座もあれば聞きたい
- 友達・友情について
- 開いてくださる講座なら何のジャンルでもよろしいです

問6. その他ご感想、ご意見、ご要望があればお書き下さい。

- 英語の世界が、どのような成り立ちからきているのか、わかりやすかった
- おもしろかった
- 英語の歴史や構造について、より深く知ることができました。ありがとうございました
- このように、普段勉強できない講座を開いてくださり感謝いたします。また、よろしく願いたします
- 日常使っている英語から、そのルーツ等、広い知識がつかえました

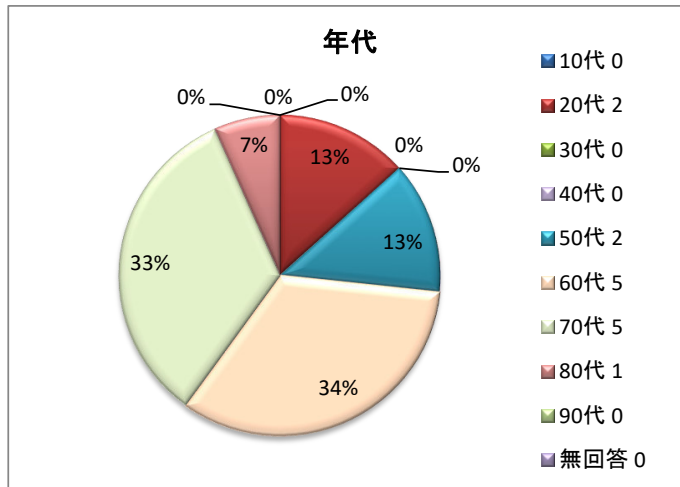
旭川ウェルビーイング・コンソーシアム「あさひかわオープンカレッジ [後期Ⅱ]」

⑨「不適切な保育の今昔～昔の常識、今の非常識～」

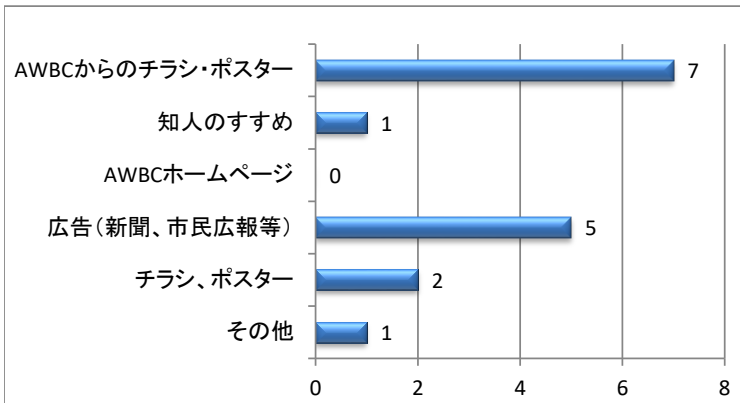
(11/1 (土) 13:30～15:00開催) アンケート結果

受講生 15名 回答者 15名
 回答率 100%

問1. あなたのことを教えてください。



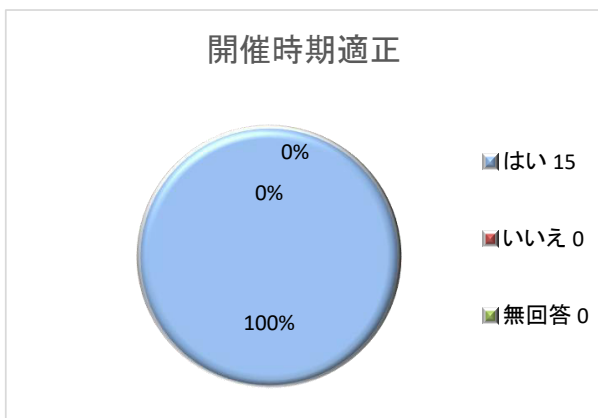
問2. 本講座の開催はどのようにして知りましたか。(複数回答可)



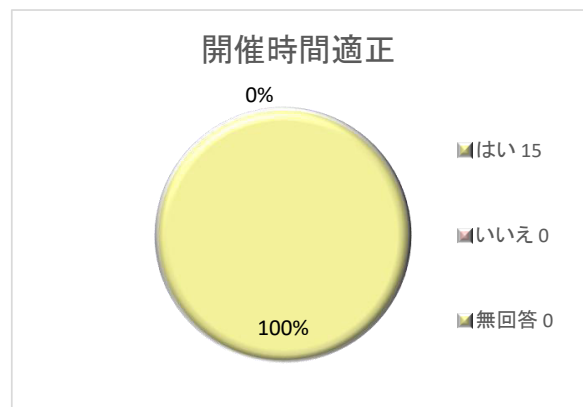
【備考】

- ・ あかり
- ・ あさひばし
- ・ 職場メール
- ・ 自宅のメール

問3. 開催時期は適切ですか。



問4. 開催時間は適切ですか。



問5. 今後希望する講座のテーマをお書きください。

○今日のテーマ(不適切な保育)のような話題を続けてほしい

問6. その他ご感想、ご意見、ご要望があればお書き下さい。

○非常に具体的な内容で良かった。本音トークもあり、興味深かった

○まったく門外漢なので、保育の世界のことがだいぶ判りました

○充実した資料と、わかりやすいお話をありがとうございました

一般社団法人旭川ウェルビーイング・コンソーシアム
連携公開講座 2025
旭川市教育委員会共催
「あさひかわオープンカレッジ」報告集

2026年3月発行

編集・発行
一般社団法人旭川ウェルビーイング・コンソーシアム
旭川市教育委員会